

令和4－6年度高知県産業人材育成研修事業「オンライン研修」実施委託業務  
公募型プロポーザル審査要領

令和4－6年度高知県産業人材育成研修事業「オンライン研修」実施委託業務に関するプロポーザル審査について、次のとおり定めます。

1 審査の対象となる事業者

審査は、次の各号を全て満たす事業者を対象に行います。

- (1) 別途定める「令和4－6年度高知県産業人材育成研修事業『オンライン研修』実施委託業務公募型プロポーザル募集要領」（以下「募集要領」という。）に規定する資格要件を満たす参加者
- (2) 募集要領に規定する期限内に、必要な書類の全てを提出した参加者
- (3) 募集要領により、適正に書類を作成した参加者

2 審査の項目及び点数

審査項目と各審査委員の審査項目ごとの配点は次のとおりとします。

(1) 企画提案の内容	260点
(2) 実施体制	20点
(3) 業務実績	10点
(4) 金額	10点
<hr/>	
合計	300点

3 審査委員会

参加者から提出された企画提案書に基づきプレゼンテーションを行う審査委員会を開催します。

(1) 日時、場所（予定）

日時：令和5年1月31日（火）

場所：高知市永国寺町6-28

高知県立大学・高知工科大学 永国寺キャンパス地域連携棟1階

※オンライン（Zoom ミーティング）での参加も可能とします。ただし、現地参加とオンライン参加の併用は不可とします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、審査委員会をオンライン（Zoom ミーティング）のみで開催する場合があります。

(2) プレゼンテーション

ア プレゼンテーションの時間は1事業者20分とします。

イ プレゼンテーション開始時刻は別途審査委員及び参加者に通知します。

ウ プレゼンテーション終了後、審査委員からの質疑の時間を設けます。

#### 4 審査の方法

- (1) 提出された企画提案書とプレゼンテーションに基づいて審査を行います。
- (2) 各審査委員は、プレゼンテーションと質疑の終了後、別紙「審査基準」に基づいて審査を行います。
- (3) 全ての参加者の審査が終了した後、各審査委員の審査結果を集計し、随意契約の相手方となる候補者と次点者を決定します。
- (4) 審査の結果、最高点の者が同点で2者以上ある場合は、経費見積が安価な者から順に候補者と次点者を選定します。
- (5) 各審査委員の採点の合計が総合点数の6割以上であることを最低基準とし、最低基準を満たさない提案者は選定の対象としません。

## 審査基準

審査項目		審査の視点	評点		
企画提案の内容	・本県の産業の実情と産業人材育成について十分理解した上で、本業務で重要と考える部分と自社の強みが合致しているか。	同左	20	260	
	・受講者が、自身の事業の課題解決や成長のために必要なビジネスに関する知識を身につけられる体系的な講座群と講座内容になっており、そのための独自の特徴や強みがあるか。	講座の種類及び内容は、受講者が自身の事業の課題解決や成長のために必要な内容を網羅しているか。また、体系的になっているか。	80		
		講座の内容は定期的に更新され、最新の情報を取り入れられるようになっているか。			
		講座の総時間数は180時間以上となっているか。			
	・オンラインの講座でも集中力を途切れさせずに学ぶことができ、受講者にとって受講しやすい工夫がなされているか。	講座が短時間で区切られているか。	40		
		P C、スマートフォン及びタブレット全てで視聴が可能であるか。また、ネットワーク環境があれば、別途有料のアプリケーション等必要なく受講できるか。			
	・受講者の学びに対する意欲を向上させ、学習効果を高める提案があるか。	講座が短時間で区切られているか。	50		
		その他オンライン講座でも集中力を途切れさせずに学ぶことができるような独自の工夫があるか。			
		確認テスト等、講座の理解度を確認するための機能があるか。			
		計画的に動画を視聴するための機能があるか。また、進捗状況を確認できる機能はあるか。			
・企業等が自社の人材育成をするに当たり、効果的と思われる取組の提案があるか。	受講者ごとにお勧め講座が案内される機能はあるか。また、講座を検索する機能はあるか。	50			
	その他受講者の学びに対する意欲を向上させたり、学習効果を高めたりするような独自の工夫があるか。				
・その他オンライン講座の提供に伴い県が求める業務を満たしているか。	当該企業等の担当者が、所属する従業員の受講状況等を把握できる機能はあるか。	20			
	その他企業等が自社の人材育成に当該オンライン研修を活用するに当たり、効果的と思われる取組の提案があるか。				
	受講申込から受講 I D 発行・受講までの仕組みに関して、県の指定した内容を満たしているか。また、県に管理用 I D 等を発行できるか。				
金額	予算額（5,838千円）の範囲内での、経費の妥当性はあるか。	受講に関する情報を C S V データで随時提供できるか。また、受講者に関するレポートを提出できるか。	10	10	
		土佐 M B A の広報に協力することができるか。			
実施体制	十分な能力と経験を有する責任者及び担当者が配置されているか。	同左	20	20	
業務実績	類似の業務実績はあるか。	同左	10	10	
金額	予算額（5,838千円）の範囲内での、経費の妥当性はあるか。	半年コース（350名以上）と1年コース（50名以上）の受講者数の記載があり、受講者数を十分確保できる見積となっているか。	10	10	